

3. ベトナム北部地域における健康診断プロジェクト

株式会社メディヴァ

【現地の状況やニーズなどの背景情報】

ベトナムでは疾病構造が感染症から、生活習慣病やがんなどの非感染症に移行しつつあり、病気の早期発見・疾病予防が課題となっている。一方で、ベトナムでは被雇用者に対する定期健康診断が定められているなど、健康診断が普及する素地ができつつある。

【活動内容】

本事業は、ベトナム北部地域における健康診断の普及を目指し、健診施設の担当を予定する現地医師や事務長候補を日本に招聘し、日本式の健康診断やその設立・運営・マネジメントについて研修を行い、さらに専門家派遣により、広く北部地域の医療者に対しても健康診断や予防医療に対する理解促進のために健診の意義や健診施設の運営について講義を行う。

【期待される成果や波及効果等】

本事業により、弊社が同病院と進めている同病院敷地内の健診施設開設の実現を目指し、そして日本式の健康診断の普及によりベトナム北部地域の健康に寄与することを目的とする。

<研修実施結果>

9月 第1回専門家派遣 (1名)

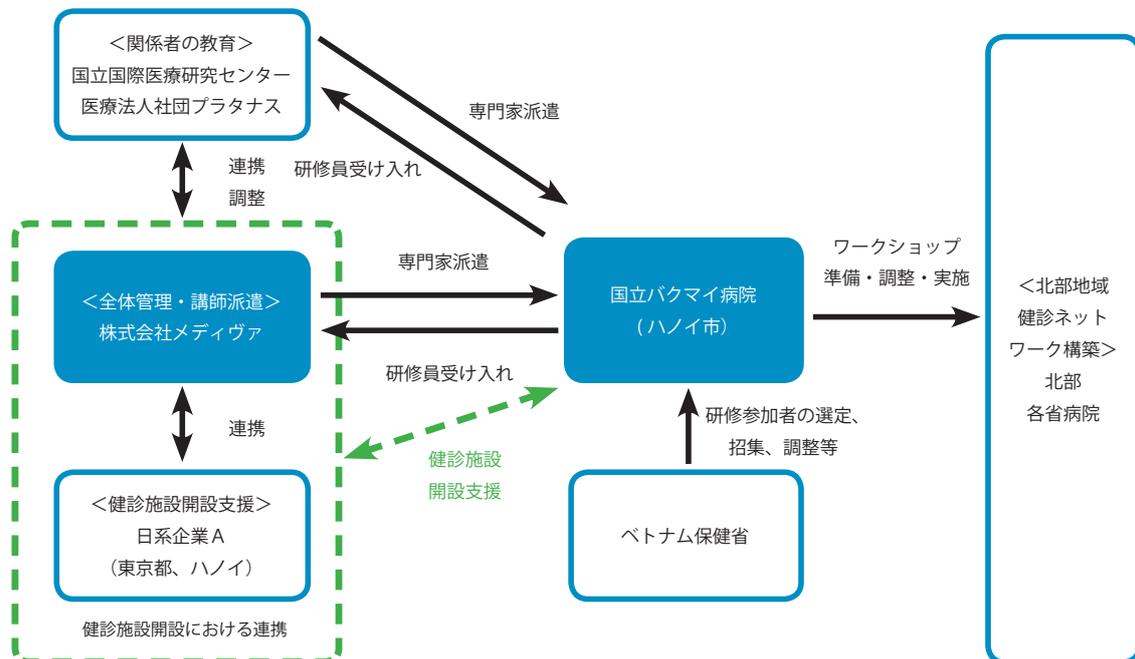
- ・研修に関する事前調整
- ・ロジの確認と調整

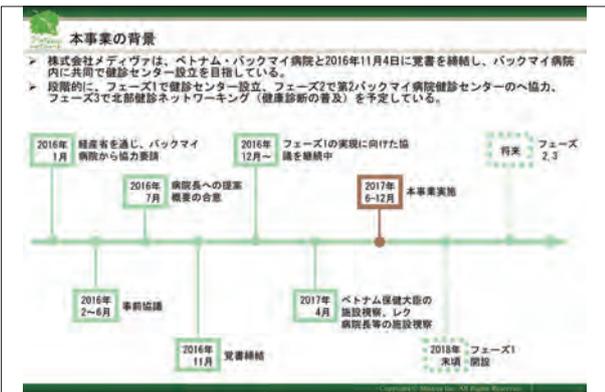
9月 受入れ研修 (9名)

- ・日本の健診施設訪問・講習
- ・ベトナム研修による打合せ

12月 第2回専門家派遣 (5名)

- ・健診の意義に関する講義
- ・健診施設運営に関する講義
- ・日本・ベトナム両国の健康診断の現状についての意見交換





ベトナム北部地域における健康診断プロジェクトについてご報告いたします。本事業の背景です。弊社は2016年1月からバックマイ病院と協議を開始し、2016年11月4日に健康診断センター設立に関する覚書を締結し、協力事業の運営を開始しました。バックマイ病院内での健診センター設立をフェーズ1として、その後段階的にフェーズ2、フェーズ3を予定しておりますが、本事業はこの3フェーズの内、フェーズ1の健診センターの設立を協力事業の一環として実施させていただきました。

本事業の目的

研修の目的

- バックマイ病院及び各省病院の職員が健康診断の意義を理解する。
- バックマイ病院の健康診断プロジェクトメンバーが、日本における健康診断施設に関して施設設計デザイン面、経営面、運用面、サービス面から多角的に理解する。
- バックマイ病院及び各省病院の医療職が、健康診断に特化した診療技術、検査技術並びに品質管理を理解する。

協力事業への波及効果

- ベトナム北部地域の健康促進に貢献できる健康診断施設の設立に向けた検討が開始される。
- 健康診断に特化した施設での業務範囲・内容の検討が開始される。
- 健康診断サービスの品質管理業務に対する検討が開始される。

本事業の内容が反映されたバックマイ病院健康診断センターの運営が開始され、ハノイおよび北部地域に健康診断が普及することにより、ベトナム北部地域住民の生活の質の向上に寄与する。

次に本事業の目的です。本事業はバックマイ病院側のコアメンバーに対して、日本の経験をもとにした健康診断の意義や、病院とは異なるマネジメントの考え方を施設設計の段階から理解してもらうことを目的としています。また、バックマイ病院だけでなく、将来的に関わる北部地域の医療関係者にも広く周知を促すことを目的としております。波及効果として、最終的には本事業を活かした健診センターの開設と運営が開始され、北部地域全域に普及されることで、ベトナム北部地域住民の生活の質の向上に寄与することを目的としています。

本事業のスケジュール

本年度、合計2回の専門家派遣（ベトナム）及び1回の本邦受入れ研修（東京）を実施した。

時期	項目	概要
2017年9月中旬	第1回専門家派遣（ハノイ・トゥイクアン省）	<ul style="list-style-type: none"> 当月下旬の本邦受入れ研修に関する最終調整。 12月に実施のハノイでのシンポジウムの企画、調整。 トゥイクアン省総合病院における協議。
2017年9月下旬	第1回本邦受入れ研修（東京）	<ul style="list-style-type: none"> バックマイ病院プロジェクトメンバーを日本に招へい。 健康施設の運営、組織構成、人員体制、財務計画、事業戦略、設計及びデザイン、等についての講義を実施。 健康診断施設の視察。
2017年12月	第2回専門家派遣（ハノイ）	<ul style="list-style-type: none"> ハノイにてシンポジウムを開催。 バックマイ病院及び北部各省病院の関係者の出席。 日本の健康診断の概要、健診サービスの事例紹介、健康診断の利益と不利益についてを報告。

※上記以外にも、協力事業全体の推進のための、メディヴァ現地に出張し協議を行っている。

こちらは本事業の実施スケジュールです。9月中旬に本邦研修

の受け入れと12月に予定していたシンポジウムの開催のための調整を実施しました。その後9月下旬に本邦受け入れ研修を実施しました。また、12月にはハノイに専門家派遣を行い、シンポジウムを開催しました。

本邦受入れ研修目的・日程 (1/4)

目的

バックマイ病院の健康診断プロジェクトメンバーが、日本における健康診断施設に関して、以下の4項目について理解し、設立予定の健診センターの計画・立案の一助とする。

①施設設計 ②経営 ③運用 ④サービス

日時

日時：9月26日（火）-29日（金）
場所：東京都赤坂、NCGM人間ドックセンター、表参道イーク

参加者

バックマイPJメンバー 9名

- 2名：マネジメントチーム
- 1名：診療チーム
- 3名：施設・設計チーム
- 1名：機器チーム
- 1名：財務チーム
- 1名：国際協力チーム

講師陣

日本側講師 8名

- 4名：メディヴァ
- 1名：NCGM人間ドックセンター
- 1名：表参道イーク
- 2名：設計会社

それぞれの研修内容についてご報告いたします。まずは9月に実施した本邦受け入れ研修です。主な目的は、健診センターの施設設計、経営、運営、サービスについて日本の事例を紹介し、センターの開設準備に役立ててもらおうことです。参加者はバックマイ病院の健診センター設立に関わるコアメンバーです。部門別のチームを構成してもらい、代表者が参加しました。彼らには将来的にも健診センター事業の中心的な存在となってもらい、設立から運営まで一貫して参加してもらおう予定となっております。

本邦受入れ研修 研修内容 (2/4)

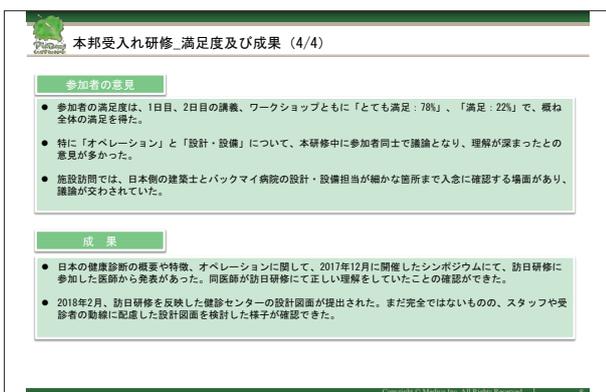
スケジュール

日	時間	内容
9月27日	10:30-12:00	オリエンテーション
	13:00-15:00	[講義] 健診センターの運営
	15:00-16:00	[ワークショップ] 健診のオペレーションのシミュレーション
	17:00-18:00	[施設訪問] NCGM人間ドックセンター
9月28日	10:30-12:30	[講義] 健診センターのマーケティング
	13:30-15:00	[講義] 健診センターの収益と費用
	15:00-18:00	[講義] 健診センターの設計のポイント
	18:30-19:30	[施設訪問] 表参道イーク
9月29日	9:30-10:30	ラップアップMTG

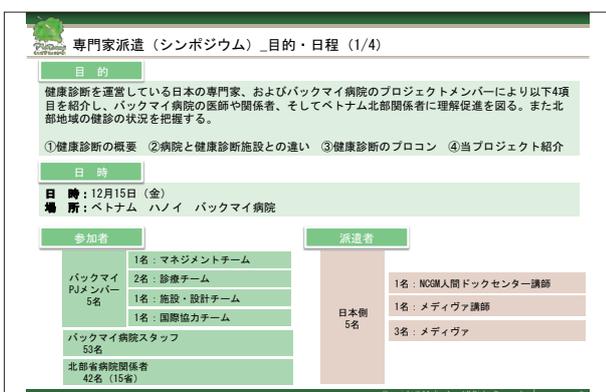
次に本邦受け入れ研修のスケジュールです。2日間に渡って、講義、ワークショップ及び施設訪問を実施しました。講義やワークショップは、弊社と設計会社で実施し、施設訪問では、NCGMの人間ドックセンターと女性専用健診センターのイーク表参道を訪問しました。



スライドは、本邦受け入れ研修中の様子です。講義では積極的な議論が交わされる様子、ワークショップでは参加者同士での議論が交わされている様子が伺えました。



本邦受け入れ研修参加者のご意見を紹介します。タイトなスケジュールにも関わらず、概ね満足していただくことができました。特に健康診断のオペレーションや設計、設備については、積極的に参加者同士の議論が交わされ、理解が深まりました。また、施設訪問では施設設計をした建築士と直接細かい点まで議論が交わされました。本邦研修の主な成果としましては、この後開催されるシンポジウムの中で、参加者が自ら本邦研修の内容について直接報告をしたという点です。また、研修の議論を反映して設計図面が提出されましたので、この研修が活かされたと思います。



次に専門家派遣についてご紹介します。シンポジウムを含めた専門家派遣です。バックマイ病院スタッフ、そして北部地域の医療関係者に対して健康診断について理解を深めてもらうこと、現在実施中の健診センター協力事業全体を紹介することを目的としています。シンポジウムには、バックマイ病院スタッフや北部地

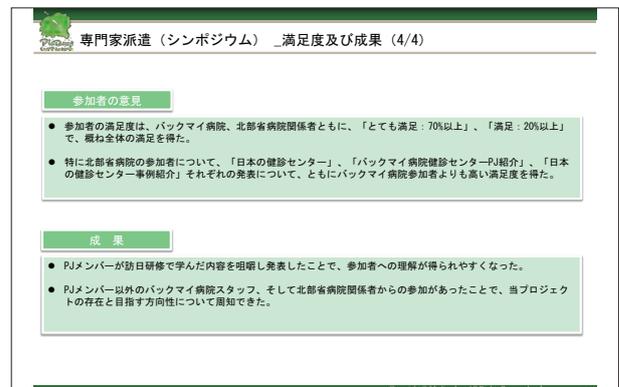
域の医療関係者など、合計 100 名の参加者がありました。



専門家派遣のスケジュールです。シンポジウムでは NCGM の人間ドックセンターの井上先生より NCGM の取り組みや健康診断のメリット、デメリット等について講演していただきました。また、弊社からは日本の健康診断の概要について紹介をさせていただきました。バックマイ病院側からは、9月の本邦研修の内容を踏まえた健康診断の概要や、実施中の弊社との協力事業について紹介していただきました。午後はバックマイ病院の消化器科を訪問し、特に内視鏡の技術的な課題について健康診断を実施するにはどのようなことを行っていけば良いか議論しました。



スライドはシンポジウムの様子です。



シンポジウム参加者のご意見を紹介します。参加者には概ね満足していただきました。特に北部地域の医療関係者からは、バックマイ病院の参加者よりもより高い満足を得ました。成果としては、本邦研修で実施された内容についてコアメンバーに改めて発表していただいたことで、参加者にはより理解が得られたものと思われます。また、健診センターの協力事業を広く周知すること

ができましたので、今後のフェーズ2、フェーズ3に繋がっていく上で、協力事業の活動への協力が得られたかと思っております。



最後に本事業の成果をご紹介します。バックマイ病院と北部地域病院のそれぞれについて、スライド左側にあるアウトプットを得ることができました。今年度のバックマイ病院のアウトカムとしましては、研修内容が反映された設計図面が提出されたことと、現地シンポジウムにて研修の内容が反映されたことがありましたので、コアメンバーの参加者に健診センターの設立に関してより深い理解が得られたものと思っております。また、コアメンバーの方に主体的に活動を実施していただきましたので、今後も非常に主体性を持って実施できるのではないかと考えております。北部地域のアウトカムとして、日本の健康診断についての理解を得ることができたとともに、健診センター協力事業の周知をすることができました。その他、この発表ではご紹介しておりませんが、北部地域の1病院を訪問し、地方の健診センター事情を確認することができましたので、今後のフェーズ2、フェーズ3にも役立てていけるのではないかと考えております。本年度の事業実施により関係者の中で日本の健康診断について理解が深まり、バックマイ病院内で設立が進められている健診センターがベトナムの既存施設より一段レベルが高い発展的な施設となることを期待しております。以上で発表を終わります。ありがとうございました。

■ 参考資料

